

【特別支援学校用】

令和3年度学校評価 計画

様式1(特別支援学校)

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立唐津特別支援学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・保護者アンケート(4段階評価)では、すべての項目で平均3.5以上の評価であり、特に、「お子様を本校に通わせてよかったと思うか」という問いに対しては、平均3.9(「そう思う」(89.7%)「少し思う」(9.4%))であった。これは、子どもの主体的な学びと育ちを支援する学校生活づくりを目指す本校の教育に関し、ご理解を得ていることと受け止められる。</p> <p>・職員アンケート(4段階評価)では、朝の登校での挨拶の励行や緊急事態を想定した各種訓練の実施、新型コロナウイルス感染症への対応についての自己評価は高く、研究主題の視点での授業実践や働き方改革の推進についての自己評価は低い結果であった。特に、「教職員の働き方改革の推進」については、アンケートの平均が2.6で、働き方改革を意識した業務の効率化と改善は未だ十分とは言えない。</p> <p>・こうした結果を踏まえ、次年度は、育成を目指す資質・能力の3つの柱について、更に研究を深め子どもの主体的な学びを意識した教育を、引き続き実践していくことが大切である。そのためには、カリキュラム・マネジメントの必要性和新学習指導要領の内容を十分に理解し、授業づくりの活性化を図る必要がある。一方で、働き方改革の観点から個別の指導計画の様式の改訂を行ってきたが、来年度は、会議の縮減や書類作成の改善等による業務軽減を更に推進していく必要がある。</p>
---------------	---

2 学校教育目標	児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちの持つ可能性をできる限り広げ、校訓にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立し社会に参加する力」をはぐくむとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>○子どもが今日の学校生活に満足し、明日の学校生活を期待することができる学校をつくる。</p> <p>○子どもが今日の学校生活を「自分から」「自分で」取り組み、「やりがい」「手ごたえ」を感じ、「精一杯」「存分に」活動し、「充実感」「満足感」に浸ることができる学校をつくる。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当
---------------	------	--------	------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○個別の指導計画作成に当たり、十分な相談や説明があったと回答する保護者の割合70%以上。 ○個別の指導計画を適切な指導・支援に十分に生かすことができていると回答する職員の割合60%以上。	・一人一人のニーズを多角的に検討するために、担任に加え級外が読み合わせに参加できるように計画する。 ・個別の指導計画の学級での読み合わせの時間が取れるよう、時間の設定を行う。							教育支援計画等検討委員会 チーフ
	◎子どもの主体的な学びと育ちにつながる授業づくりのさらなる充実	○学校の満足度に関する項目についての保護者の評価の平均 3.9以上。 ○職員研修会の実施 年間3回以上。	・「育成を目指す資質・能力の3つの柱」についての職員研修会により共通理解を図り、授業実践に活かす。							研究部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○仲間とともに活動することにより達成感を味わい、コミュニケーションを取り合う力を育むことができる行事や活動・場面の設定、学期に2回以上。	・生活単元学習や作業学習等において、自分の役割を果たす活動を盛り込む。 ・様々な人々とコミュニケーションを取り合う力を育むため、就業・施設体験や販売学習等を実施する。							教頭
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○職員は児童生徒の問題やトラブル等に適切に対応しているという回答する保護者の割合90%以上	・月に1回以上、児童生徒のトラブルやいじめに関する報告・連絡・相談の機会を設ける。 ・いじめに関する職員研修を年間1回以上実施する。							生活安全部
●健康・体づくり	○明るく楽しい学校づくり	○挨拶や明るい学校づくりに関する項目についての職員・保護者の評価の平均3.7以上。	・児童生徒や保護者・職員同士で積極的な挨拶や声かけを行い、明るく楽しい学校づくりに努める。							教頭
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・学期ごとに、交通安全指導や通学路点検を行う。単独通学生生に対しては、毎月通学指導を行う。 ・保護者に対して、送迎時の安全運転及び校内徐行運転を呼び掛ける。							生活安全部
●地域支援	○感染症拡大防止に係る取組の充実	○感染症拡大防止に係る取組に関する項目についての職員・保護者の評価の平均3.7以上。	・新型コロナウイルス感染症や各種感染症に対する安全衛生について適切な指導・情報発信を行う。 ・手指消毒用アルコールスタンドの増設や、手洗い・三密の回避等についての児童生徒への指導を適切に行う。							副校長
	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○地域支援に関する項目についての職員の評価の平均 3.6以上。	・地域支援の状況について集約した内容を年2回、職員に情報提供することで職員の地域支援に関する共通理解とセンター的機能に関する意識向上を図る。 ・地域の学校や保護者、福祉、医療、労働、行政機関等との適切な連携の下、情報の共有化を図りながら相談業務を行う。							支援部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日・定時退勤推進日の設定で職員の意識改革を図り、パーソナルタイムの設定により個人の業務時間を確保する。 ・効率的な会議の実施、会議・研修会の精選を図るとともに、ICTを活用した業務の効率化を推進する。							教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○進路指導	○一人一人に即した進路指導の充実	○児童生徒及び保護者のニーズに応じた進路指導に関する項目についての保護者の評価の平均 3.6以上。	・個々の児童生徒のキャリアや将来の見通しについての関係者による検討を随時実施し、情報共有を図る。 ・児童生徒や保護者への適切な進路情報の提供を随時行う。 ・地域における事業所開拓を充実させる。							進路指導部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------